

胃全摘術を受けられる

様

病名

年 月 日

主治医:		担当看護師:		患者様用					
月日	入院当日	入院当日(術前日)	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2~4日目	手術後5・6日目	手術後7~11日目	手術後18日目・退院日
処置・薬剤 (点滴・内服)	・現在服用中の内服があれば 続けて服用してください	・21時に安定剤を内服(希望時) ・21時に下剤を内服	・6時に医師の指示がある 薬剤のみ少量の水で内服 ・()時浣腸 ・()時に点滴開始 ・点滴までに更衣をすま せてください ・()時に手術室に 行きます	・手術後は()に 帰ります ・手術後は心電図モニターや 酸素吸入をそのままお部屋 に戻ります	・朝、医師にてガーゼ交換 ・医師の診察後に酸素や 心電図モニターを終了する かを決定します ・1日中点滴があります ・内服は医師の指示が出 てから開始となります		・手術後5日目にお腹の チューブを抜きます	・手術後6~7日目頃 に、お腹の傷を止め てあるピンを抜きます ・手術後9日目まで点滴 があります	
排泄	・トイレ		・便の性状を観察するので 流さずに教えてください	・手術後は膀胱に管が はいつてます	・医師の指示により膀胱の 管を抜きます	→			
検査	・心電図、胸部レントゲン 採血 ・麻酔科受診(外来で行っている 場合もあります) ・身長、体重測定 ・大腸内視鏡検査				・採血 ・レントゲン	・必要に応じ採血があります			
安静度	・フリー		・手術の時間まで点滴台を 持って歩くことができます	・翌朝までベッド上で過ごして ください	・手術後初めて歩く時は必ず 看護師が付き添います ・トイレ、病棟内歩行可	・院内歩行可			
食事			・0時以降、絶食 ・()時以降、絶飲食	・手術後3時間より、氷が なめられます	・医師の許可後、飲水可	<食事の目安> ※症状に応じて変更する ことがあります	・全粥 ・5日目 ・6日目	・7日目全粥 ・8日目から常食	・常食
清潔		・お腹の除毛をした後、シャワー ・女性の方はマニキュアを とりましょう ・爪切り	・男性は髭剃り		・温かいタオルで体を拭き ます	・温かいタオルで体を 拭きます	・体を拭くお手伝いを させていただきます	・医師の指示により シャワーをすることが 出来ます	
患者様及び ご家族への 説明 栄養指導 服薬指導	・手術について医師から説明 ・入院生活、手術について看護師 から説明 ・手術の必要物品 (腹帯2枚、平たいオムツ1枚、 バスタオル1枚)を用意 ※売店で購入できます ・普段内服している薬があれば、 主治医か看護師に渡して ください	・術前訪問(手術室の看護師が お部屋にお伺いします) ・薬剤師より服薬指導があります	・女性の方はお化粧品や 口紅は色が分から なくなるので、控えて ください ・義歯、コンタクトレンズ、 メガネ、時計、ピアス、 ネックレス、指輪などの 貴重品、貴金属は外し て、ご家族の方が保管 してください <ご家族の方へ> ・手術当日は、手術入室 予定30分前には病室に おいでください ・患者様が手術室に入ら れた後、デイルームで 手術が終わるまで待機 してください	・麻酔が覚めると痛みや吐き 気があることがあります。 我慢することはかえって お体に良くありません。 主治医・看護師に必ず伝えて ください <ご家族の方へ> ・手術後は医師から手術に ついて説明があります		☆食事開始時期にパンフレットをお渡しします。 ☆手術後に栄養指導を受けていただきます。調理される方の同席をお願いします。 原則的には午後からになりますが、都合の悪い方は申し出てください。 ご希望に添えるように致します。 ☆退院おめでとうございます☆ ・傷口に貼ってあるテープがはがれたときは、バンドエイドなどを貼り、 傷を保護しておけば問題ありません <こんな症状があれば早めに受診してください> ・傷口から液体などが出て汚れるとき ・発熱、腹痛などの症状があるとき <食事について> ・お渡ししたパンフレットをご覧ください <薬について> ・医師、薬剤師の指示に従ってください <定期受診について> ・定期受診は、必ず受診しましょう。それ以外でも、体調が悪かったり、 おかしいと思う時は受診してください <緊急時の受診について> ・夜間、休日に具合が悪くなったときは、まず病院にお電話ください			

◇ 総合的機能評価